

SHO-BOND

床版取替え工法

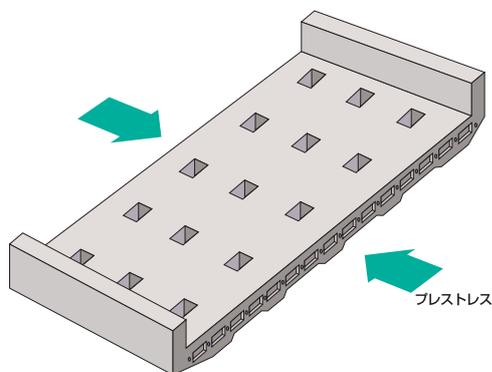
急速施工が可能な橋梁用プレキャスト床版
による床版取替え工法

SHO-BOND SBパネル工法

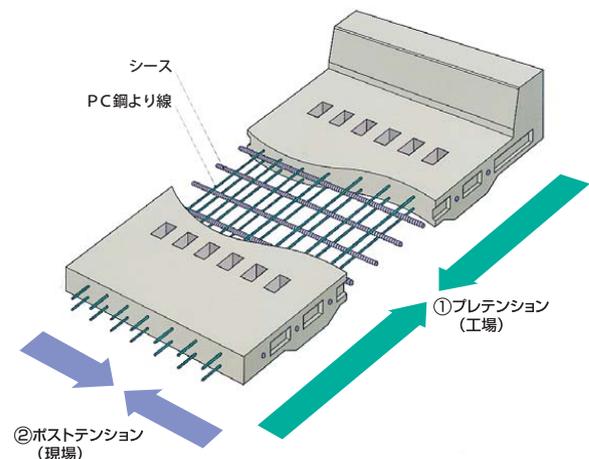
タイプI/タイプII



●SBパネル タイプ I 〈1方向 PC床版〉



●SBパネル タイプ II 〈2方向 PC床版〉



■補修工学® — 建造物の総合メンテナンス企業

ショーボンド建設株式会社

工法の特長

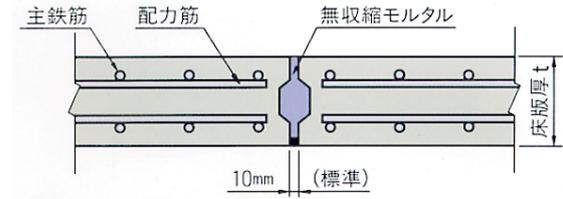
工期が短縮

- SBパネルは、ハンチも含め工場で作られたプレキャスト床版であり、また、パネル相互の継手は乾式継手となっています。

そのため、架設直後の版上に重機の乗り入れが可能となり、パネルの連続施工ができ、工期の短縮がはかれます。

SBパネル相互の継手

- 橋軸方向継手は、現場打ちコンクリートを使用しない乾式継手構造です。目地部には、原則として無収縮モルタルを充てんします。

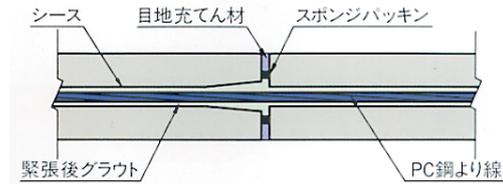


配力筋方向の連続性の確保

- 床版の連続性を確保する方法としては、原則としてプレストレスを導入するPCタイプを採用しています。

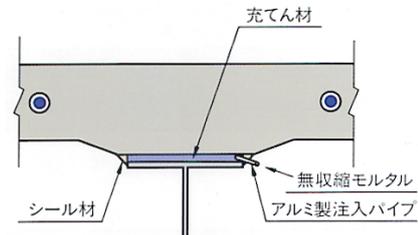
■PCタイプ

橋軸方向全長にわたりPC鋼線を挿入し、プレストレスを導入して床版の連続性を確保します。



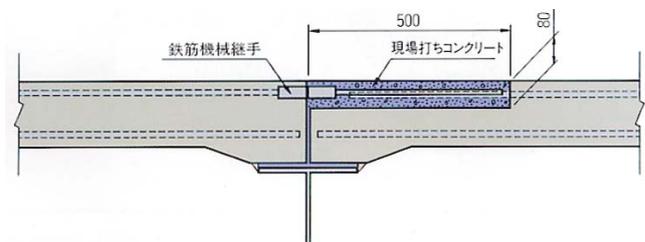
SBパネルと桁との締結の充てん材

- SBパネルはハンチも含め工場製作されるため、基本的には桁との間隙に現場打ちコンクリートは使用しません。版と桁との隙間に、無収縮モルタルを充てんします。



橋軸直角方向継手 (車線間継ぎ手)

- 分割施工を行う場合の橋軸直角方向継手の基本構造は下図のとおりです。施工条件、構造条件により、下図以外の構造(ループ継手、PC継手)も可能です。



ショーボンド建設株式会社

〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町7-8 TEL. 03(6861)8101(代表)

<http://www.sho-bond.co.jp>

●取扱店